

観光資源としての手取キャニオンロード自転車道とその可能性の再発見

指導教員 金城大学短期大学部 教授 矢澤建明

参加学生 2年 竹林英悟 山下楓 中川優輝 井上敬人 白崎結佳
 中谷叶芽 長谷悠依 山崎真央

本ゼミナール活動にご協力くださいました、e-CRUTTTO の越村浩史さま、石川県サイクリング協会理事長の岡本勇さま、白山市鳥越瀬木野在住の瀬川亮太さま、石川県道路整備課の大代昇平さま、白山市観光連盟の舟津能子さま、白山市鳥越市民サービスセンター所長の東陽一さま、白山ジオライド推進協議会会長の長壮一さま、GEORIDE HAKUSAN 実行委員会の皆様、サイクリングガイドの皆様、私たちのつたないアンケート調査にご協力いただいたすべての方々に感謝申し上げます。

観光資源としての手取キャニオンロード自転車道とその可能性の再発見

金城大学短期大学部 矢澤ゼミ

山下楓・井上敬人・中川優輝・竹林英悟・白崎結佳・中谷叶芽・長谷悠依・山崎真央

はじめに

白山市の手取キャニオンロード自転車道は、白山手取川ジオパークの「川と峡谷のエリア」をそのまま体験できる素晴らしい自転車道である。しかし、観光地としての認知度は低く、サイクリストも単にサイクリングに来るだけで、せっかくの観光資源が生かされていない。白山市鶴来のレンタサイクルショップ e-CRUTTTO 様からの問題提起に対し、より良い観光資源としての活用を目指すため、学生を中心に下記の活動を実施した。

活動内容

①「旧加賀一の宮駅前」手取キャニオンロード美化活動



人が優しく 人に優しいね
HAKUSAN GEORIDE

白山ジオライド推進協会さまに協力し、4/20、6/8、10/26 と手取キャニオンロード美化活動を行った

②手取キャニオンロード周辺の独自調査、イベント参加



GEORIDE HAKUSAN へのイベント協力 (中止 → 独自にルート試走)、他にも手取キャニオンロードルート外の見どころ調査を行った



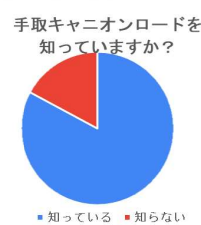
③e-CRUTTTO さまのツアー体験



e-CRUTTTO さまの協力で、2 回のサイクリングツアーを実施



④手取キャニオンロード利用者へのインタビュー調査



車止めポールはどう感じましたか



⑤北陸鉄道利用調査、インバウンドニーズ調査



金沢市にし茶屋街付近で出会った海外の方、鶴来駅で出会った方 12 名にインタビューを行った。

- ・白山手取川ジオパークの知名度 = 0%
- ・手取キャニオンロードの写真を見た好感度 = 100%

⑥車止めポール問題について意見交換



石川県サイクリング協会理事長の岡本さま、石川県道路整備課の大代さま、白山市瀬木野在住の瀬川さま、白山市鳥越支所の東さま、にお話を伺った。

最終的には警察ということになり、石川県警に電話をさせていただいたが、結局は手取キャニオンロードができた当時の地元からの要望では？ということになり、かつ当時の記録が残っていないとの話であった。

今後の目標

(1) 手取キャニオンロードの車止めポール・止マレ表示問題

現状で車最優先となっている状況が安全なのかと考えると、別の解決策があるように思われる。ひきつづき協議をしていってほしい。

(2) 学生考案のサイクリングツアー実施

絶景を重視したサイクリングツアー案を策定したので、次年度のゼミ学生には e-CRUTTTO さまと連携して実現してほしい。

1. 活動の要約

金城大学短期大学部ビジネス実務学科では、最終学年である2年生は少人数でのゼミナールが必修となっており、矢澤ゼミでは毎年地域課題について取り組んでいる。特に白山ろくの手取キャニオンロード活性化は長年のテーマであった。今回は、学生が体験したサイクリングツアーを元に学生目線の意見・アイディアを出し、サイクリストへのアンケート、金沢でのインバウンド調査、サイクルイベントなどへの参加、地元の方との意見交換を行った。

2. 活動の目的

白山市の手取キャニオンロード自転車道は、白山手取川ジオパークの「川と峡谷のエリア」をそのまま体験できる素晴らしい自転車道である。しかしながら、観光地としての認知度は低く、サイクリストも単にサイクリングに来るだけでせつかくの観光資源が生かされていない。本学でも、授業やゼミナール活動で毎年のように利用させてもらっている手取キャニオンロードをハード面・ソフト面において、より良いものにしていきたいと考えていた。そのような中、2024年4月1日よりオープンした鶴来駅前のレンタルサイクルショップ e-CRUTTTO さまからお声掛けをいただき、学生目線での協力をしたいというのが活動の目的である。

3. 活動の内容

	日付	活動内容	学生参加人数
1	4/20(土)	旧加賀一の宮駅手取キャニオンロード美化活動(6/8、10/26)	7
2	6/8(土)	e-CRUTTTO ツアー1(明神壁トレッキング)	2
3	6/29(土)	サイクリングルート・周辺観光地の下見(鳥越一向一揆歴史館など)	8
4	7/7(日)	e-CRUTTTO ツアー2	7
5	9/12(木)	白山市観光連盟サイクリングツアー参加の方にインタビュー	2
6	10/9(水)	サイクリングガイドとの会議	8
7	10/13(日)	ほくてつ電車まつり・サイクリングガイド体験	5
8	10/15(火)	サイクルトレイン体験・インバウンド調査	4
9	10/21(月)	手取キャニオンロード・e-bike 環境調査	7
10	10/23(水)	サイクリング協会会長の講話・打ち合わせ	8
11	10/26(土)	サイクリストへのアンケート調査(手取キャニオン)	7
12	11/2(土)	GEORIDE HAKUSAN(雨天のため中止)	8
13	11/3(日)	GEORIDE HAKUSAN コース走行	1
14	11/21(木)	サイクリングガイドオンラインミーティングに参加	1
15	11/26(火)	石川県庁道路整備課訪問	4
16	12/11(水)	地元の方との会議	8
17	12/20(金)	金沢でのインバウンドニーズ調査	4
18	1/14(火)	白山市鳥越支所訪問	2
19	1/14(火)	白山ジオライド推進協議会会長訪問	2
20	2/6(木)	金城大学短期大学部ビジネス実務学科産学連携ゼミナール発表会	8
21	2/22(土)	大学コンソーシアム石川「地域課題研究ゼミナール支援事業」報告会	8

(1) 白山ジオライド推進協議会「旧加賀一の宮駅前」手取キャニオンロード美化活動

4/20(土)、6/8(土)、10/26(土)に白山ジオライド推進協議会と協力して金名線の廃線駅跡「旧

加賀一の宮駅前」の手取キャニオンロード美化活動を行った。

(2) 手取キャニオンロード周辺の独自調査、イベント参加



白山ろくや手取キャニオンロード、白山手取川ジオパークについて理解を深めるため独自で周辺の見どころ調査を行った。まずは、本学集中授業「アウトドア演習（手取キャニオンロードサイクリングが含まれる演習）」になるべく多くのメンバーが参加し、手取キャニオンロードのサイクリングを体験した。また、6/29に手取

キャニオンロードのルート外である一里野や鳥越一向一揆の里、獅子吼高原を視察した。

さらに、手取キャニオンロードを含むはじめての本格的サイクルイベント「GEORIDE HAKUSAN」にエイド協力員として、さらには参加者として参加をする予定であったが、残念ながら悪天候で中止となってしまった(11/2)。選手として参加予定だった学生が、実際のコースを自転車走って検証も行った(11/3)。

(3) e-CRUTTO さまのツアー体験

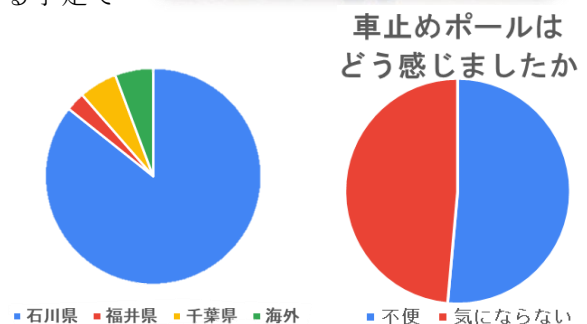
独自調査と並行して、e-CRUTTO さまのツアーを体験させていただいた。

- ① 6/8. 過去の先輩の活動から、鳥越城の眺望に興味があったが、2022年豪雨・2024年能登震災の影響で立ち入りができない状況だった。その点をサイクリングガイドの提案で、同様の眺望が楽しめる、明神壁トレッキングを含むツアーを我々向けに作っていただいた。
- ② 7/7. 一般向けに提供されている、スタンダードな「滝めぐりコース」に7名で参加させていただいた。たまたま、一般の方の参加がなく我々だけだったことから金城学園の白山美術館もツアーコースに入れていただいた。白山ろくのことをよく知らない人は マップ情報を元に単に手取キャニオンロードを走るだけだが、サイクリングガイドのおかげで手取キャニオンロード以外のコース案内していただいた。



(4) 手取キャニオンロード利用者へのインタビュー調査

前述の「GEORIDE HAKUSAN」の大会参加者に「手取キャニオンロード」についてのアンケート調査をする予定であったが、悪天候で中止となり、想定していたアンケート数が激減してしまった。しかし、10/26をはじめとしてさまざまな場面でサイクリストに声をかけ、35名の方からお話を聞くことができた。県内からサイクリングを楽しむ方が多いこと、車止めポールについては半数以上の方が不便と感じていた。



(5) 北陸鉄道利用調査、インバウンドニーズ調査

手取キャニオンロードへのアクセスとして金沢から鶴来を結ぶ北陸鉄道関連についても調査をした。まずは「ほくてつ鉄道まつり」に協力し、アンケート調査と鶴来駅近辺のミニサイクリングツアーガイドの補助を行った。ミニサイクリングツアーの集客はあまりよくなく、鉄道ファンとサイクリングは必ずしも結びつかないと感じたが、北陸鉄道は自転車をそのまま電車に乗せて運べる「サイクルトレイン」という

サービスを行っていることから可能性はあると感じた。金沢側終点である野町駅近くには観光客が数多く訪れる「にし茶屋街」があり、現地でのインバウンド調査として外国人の方にアンケート調査を行った。白山の知名度は皆無だったが、手取キャニオンロードの写真を見た意見は全員好意的だった。



海外の方12名にインタビュー

- ・白山手取川ジオパークの知名度 = 0%
- ・手取キャニオンロードの写真を見た好感度 = 100%

(6) 車止めポール問題について意見交換



さまざまな活動から、手取キャニオンロードのハード面の課題である「車止めポール」と「止マレ」表示が連続する点について、石川県サイクリング協会理事長、石川県道路整備課、地元在住の方、白山市鳥越支所所長、石川県警といった方々と意見交換を行った。後述のとおり、すぐにも問題が解決するわけでないが、問題提起にはなると考えている。

4. 活動の成果

(1) 手取キャニオンロードが抱える課題

上記の活動から、以下の3点を課題として挙げる。

- ① 手取キャニオンというほど峡谷の近くを走らない（学生としての感想）
- ② 自転車道上の車止めポール、止マレ表示の多さ、外国人向けの表記不足
- ③ 地元のサイクリストばかり（逆に地元の人しか知らない穴場なのでは？地元には強い人気）

(2) 課題の解決策

上記の解決のため、以下のことを提案する。

- ① 「キャニオンというほど峡谷の近くを走らない」という点については、自転車道にしばらく走らないツアールートを設定し、サイクリングガイドによる紹介をすることで解決できると考えた。手取キャニオンロード近辺に精通しているサイクリングガイドは、穴場となっている絶景を案内することができる。私たちの活動でも明神壁というほとんど知られていない場所のトレッキングを体験させていただき、絶景を堪能することができた。本来であれば、鳥越城に電動アシスト自転車に登ってみたかったが、2022年豪雨・2024年能登震災の影響で登ることができない中、サイクリングガイドの提案でこのようなツアーを組んでいただくことができた。
- ② 自転車道上の「車止めポール」および「止マレ」表示が連発する問題については、手取キャニオンロード設置時の経緯を知っている方がほとんどいないこと、すでにあるものを変えるということについては地元、行政、警察といった方々がおたがいの顔色をうかがって動きがにぶいという現状から、非常に厳しいものがある。この点については、声をあげ続けていくしかできない。ただし、

安全のためにもサイクリングガイドツアーの推進が、現状の妥協点と考える。実際、白山市観光さまのガイド付きサイクリングツアーを体験されたご夫婦にアンケートを取らせていただいたが、大変に好意的な意見だった。

- ③ 地元のサイクリストばかりという点については、魅力の発信をしていくほかない。アンケート調査を行った日には、2 時間程度で 30 名を超えるサイクリストと遭遇することができた。それほど地元で愛されているわけだから、県外や国外の方に知られれば必ず話題となる。サイクリングガイドツアーが望ましいということから、学生目線でのツアー案も考案した。手取キャニオンロード周辺は、当然白山手取川ジオパークの「山と峡谷」のエリアであることから見どころが満載であるが、若者には「絶景」が心に響くはずだと考え、絶景にこだわったツアー案としてみた。このツアーを実施することによって手取キャニオンロードがよりメジャーでディープな場所になることが考えられ、さらに SNS を積極的に発信し国内外問わず知名度を上げていき、観光資源の有効化を図ることができるだろう。

学生目線で考えたサイクリングツアー案

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| ・ 9:00 e-CRUTTO | ・ 13:30 不老橋（絶景） |
| ・ 10:00 白山比咩神社 | ・ 14:00 綿ヶ滝（絶景） |
| ・ 11:00 鳥越城（絶景） | ・ 15:00 下野園地 |
| ・ 12:00 一揆そばで昼食 | ・ 16:00 獅子吼高原ゴンドラ（絶景）島集落・軽食 |
| ・ 13:00 御仏供杉 | ・ 17:00 e-CRUTTO |

5. 今後の活動計画

本年度のゼミナール学生は卒業することになるが、引き続き来年度のゼミナール学生にもこの活動を継続して行ってほしいため以下の点をあげる。

（1）手取キャニオンロードの車止めポール・止マレ表示問題

この問題については、安全第一というしほりがあるため、落としどころを見つけるのが難しいが、現状で車最優先となっている状況が安全なのかと考えると、別の解決策があるように思われる。ひきつづき関係者の方と協議をしてほしい。

（2）学生考案のサイクリングツアー実施

絶景を重視したサイクリングツアー案については、考案した時期が冬であったため、試走や実施が不可能であった。次年度のゼミ学生には e-CRUTTO さまと連携して実現してほしい。

（3）GEORIDE HAKUSAN への協力とアンケート調査

残念ながら中止となってしまった、GEORIDE HAKUSAN サイクルイベントが、次年度 5 月に開催されるとお聞きした。手取キャニオンロードを利用したはじめての本格的サイクルイベントにぜひ協力し、かつサイクリストたちへのインタビュー調査も実施してほしい。

6. 活動に対する地域からの評価（レンタサイクルショップ e-CRUTTO 越村浩史さまより）

矢澤ゼミ学生の皆様、矢澤先生にはこの度の地域課題研究において甚大なご協力を頂き深く感謝いたします。手取キャニオンロードは地域に根づいた観光資源であり、周辺のジオスポットと関連つけることで更に楽しさが増すと感じています。手取キャニオンロードの走行に関する課題や、利用者・インバウンドへのインタビューなど幅広い活動は正に学生様目線の素晴らしい活動になったと思います。また、皆様には暑い時期のツアー参加、ツアーへのフィードバックや新たなツアー構想の提案などを頂き嬉しい限りです。頂いた提案の実現に向けて、今後ともご協力頂きたいです。ありがとうございました。